

2025 年度 第 29 回

国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技(論述)試験 問題用紙

実施日 ◆ 2025 年 7 月 6 日 (日)

試験時間 ◆ 14:30~15:20(50 分)

★注意事項★

1. 本試験の出題形式は、記述式 4 問です。
【事例記録】を読み、設問ごとに解答用紙の記入欄に記述してください。
2. 解答用紙の受験番号・氏名に誤りがないか、確認してください。
3. 試験中に机の上に置ける物は、受験票、腕時計、筆記具(黒の鉛筆もしくはシャープペンシル・消しゴム)です。それ以外のもの(定規・メモ用紙・筆記用具入れ等)は机上に置かず、カバンなどの中にしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等全ての通信機器および電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンの中などにしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退出時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 2025 年 8 月 21 日(予定)に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、以下の登録試験機関のウェブサイトに受験番号を掲載してお知らせします。
<https://www.career-shiken.org/result/>

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

問題 次の【事例記録】を読み、以下の設問に答えなさい。解答は解答用紙の設問ごとに記述すること。

【事例記録】

*キャリアコンサルタントが今後の研鑽に生かすための、作成途中の事例記録

相談者情報： Zさん、女性、61歳、独身。分譲マンションに1人暮らし 略歴：短期大学（英文科）を卒業後、日用品メーカーの正社員として勤務し、60歳で定年退職。 現在は無職 家族構成：父（86歳）・母（84歳）、同じ市内に在住
面接日時：2025年7月初旬 本人の希望で来談（初回面談）
相談の概要： 【略A】
相談者の話した内容： カッコ内はキャリアコンサルタントの発言 60歳で定年退職してから1年が経つ。在職中はずっと忙しく仕事中心だった。継続雇用の話もあったが、もういいかという気持ちが強く、退職することにした。退職したら、今まで仕事が忙しくてできなかった友人との旅行や、自分の時間を過ごしつつ、定期的に近くに住む高齢の両親のところに行き行って手伝いをしたり、病院の付き添いをしたりすると思っていた。両親のことは、この先もっと面倒をみていかなければとは思っているけれど…。 (これからはもっとご両親をみなければと思うけれども、なにか気がかりなことがあるのでしょうか) 仕事はずっと忙しくて大変だったので、60歳になったら、もうやらなくてもいいと思った。特に最後の5年間は部署異動もあったり、人間関係に苦労したりもしたので、定年まで勤め上げることができて本当にほっとした。でも、いざ定年後の生活が始まってみると、両親のこともあり旅行にたびたび行けるわけでもなく、なんとなく一日が過ぎているように感じる。両親から、こまごまと頼まれるので暇なわけではないが、一日の充実感がないというか…。仕事は大変だったけれど、やりがいがあって毎日が充実していたし、刺激があって楽しかった。今は働いていた時と比べて、急に世界が狭くなってきている感じがして…。両親の身の回りの手伝いもしなければならぬけれど、やっぱり少し働いた方がいいのかな…。 (ご両親のこともみながら、少し仕事もしたいと思われているのでしょうか)【下線B】 (中略) 両親は今のところは介護の必要はないが、やはり日常生活のサポートは必要だし、いずれは本格的な介護の事も考えなければならない。 今まで仕事のみの生活だったので、働きながら両親のこともみていくのは想像できない。結局、どちらも中途半端になってしまっていて新しい職場にも迷惑をかけてしまうかもしれない…。もし、働き始

めてすぐに介護が必要になってしまったらどうしよう…。こんな中途半端な感じで、自分に都合よく働くのは、何だか自分勝手な気がして、こんな状態で働いてもいいのか…とも思う。それに、今更、就職活動をするのも不安がある。

(仕事もご両親のこともしっかりやりたいと思われているんですね)

仕事をやるからにはしっかりやりたいし、両親との時間も大切にしたい。でもこれまでそんな働き方をしてきていないし、考えてもいなかったのも、イメージが持てず、どうしたらいいのかよくわからない…。

(以下略)

所感(キャリアコンサルタントの見立てと今後の方針)

・【下線B】を応答した意図は、(以下略)

(以下略)

【設問】

※注意事項:解答は全て解答用紙の行内に記入すること。裏面等に記入したものは採点されません。

設問1 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。(10 点)

設問2 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。(10 点)

設問3 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。(20 点)2×10 点

①問題

②その根拠

設問4 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(10 点)

解答用紙

受験者 氏 名	
------------	--

--

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題

② その根拠

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。